

6/13
岩手日報
ニュース
フラッシュ

■がれき広域処理反対団体が県庁で会見 がれきの広域処理に反対する県内外の市民団体の代表者ら6人は12日、県庁で会見し、広域処理や県の情報開示の姿勢を批判。県の情報開示の姿勢を問う意見書や広域処理中止を求める県外市民団体の要望書を県に提出した。

盛岡市の市民団体「春を呼ぶ会・岩手」の館沢みゆき代表は、県が開示した広域処理に関するデータが一部黒塗りだったことや請求した資料がまだ開示されていないことなどから「広域処理の必要性が明らかにされていない」と指摘した。

県側は「非開示の部分も条例に従って黒塗りにした。開示を前提に条例の手続きに沿って対応している」としている。